

災害の記録

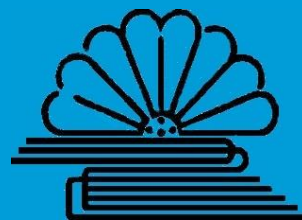
大阪府北部を震源とする地震

平成30年7月豪雨

平成30年台風第21号

島本町

平成31年3月



まえがき

平成30年6月18日に大阪府北部を震源とする地震が発生し、島本町においては震度5強の揺れを観測しました。本町において、この地震による死傷者等の重大な人的被害は発生しませんでしたでしたが、公共施設、住宅等に被害が発生しました。

町では、この地震に対し、近隣市で発生したブロック塀の倒壊による死亡事故を受けたブロック塀の緊急点検、大阪府職員と連携して実施した住家の緊急危険度判定、制度発足以来初めて実施した避難行動要支援者登録者の安否確認、JR東海道線における停止車両から降車されてきた帰宅困難者対策など、さまざまな災害対応を行いました。

この地震では住宅等の被害が一部破損に留まるなど、被害が軽微であったことから、通常の役場機能を期待して来庁される住民の方もおられました。このため、日常業務への対応と災害対応を並行して行ったことによる人手不足が発生しました。この点については、その後に発生した災害におきましても、災害対応が長期化するにつれ、課題となりました。

こうした対応が続く中、7月5日には平成30年7月豪雨により町内各地で土砂災害が発生しました。これに対し、町では、桂川の増水に対応し、町立緑地公園住宅集会所に避難所を開設したほか、土砂災害の発生地域に隣接する住宅地へ臨戸訪問を行い、避難を呼びかけました。

また、9月4日には台風第21号により、住宅等の破損や倒木による被害が発生しました。これに対し、町では、飛来物により閉塞した道路の復旧作業、町内の飛散物等の災害ごみの回収、倒木により道路が通行止めとなり孤立した山間部集落への安否確認、長期の避難生活に対応した福祉避難所の開設などの災害対応を行いました。

いずれの災害に対しましても、島本町地域防災計画に基づき、災害対策本部を設置し、各対策部が連携し、職員一丸となって対応を行ったところですが、一方で町の備えや対策の手順等の課題も明らかになりました。

我が国の災害対応の歴史は、大きな災害という経験を通じて培われた見直しの歴史でもあります。

今年度の災害対応を振り返り、以後の災害対応の質の向上に資するため、本書を発行するものです。

平成31年3月
島本町災害対策本部長
島本町長 山田 紘平

第1章 大阪府北部を震源とする地震	1
1. 大阪府北部を震源とする地震の概要.....	1
・平成30年6月18日 大阪府北部を震源とする地震 震央分布図.....	1
・平成30年6月18日 大阪府北部を震源とする地震 震度分布図.....	1
・平成30年6月18日 大阪府北部を震源とする地震による被害状況.....	2
・震度1以上の最大震度別地震回数表.....	2
2. 本町の被害の概要	3
・ライフラインの状況.....	3
・被災建築物の状況.....	3
・被災建築物の応急危険度判定及び被災宅地の危険度判定.....	3
・公共施設被害状況.....	4
・災害復旧費用.....	4
3. 交通機関及び避難所の状況.....	5
4. 支援の状況	6
5. 応急対応の状況	6
・災害対策本部会議の開催状況.....	6
・職員の動員状況.....	7
・職員の参集状況.....	7
6. 各対策部の災害対応の状況.....	8
・総合政策対策部.....	8
・総務対策部.....	8
・健康福祉対策部.....	8
・都市創造対策部.....	9
・上下水道対策部.....	9
・議会対策部.....	10
・教育こども対策部.....	10
・消防対策本部.....	11
・通学路の点検.....	12
・大阪府への要請.....	12
・高槻市への支援.....	12
・島本町への寄付者一覧.....	12
第2章 平成30年7月豪雨	13
1. 平成30年7月豪雨の概要.....	13
・全国雨量.....	13
・大阪府の雨量.....	14
・天気図及びレーダー画像等.....	15
・平成30年7月豪雨による被害状況.....	16
2. 本町の被害の概要	17
・気象警報の発表及び避難情報の発令.....	17
・雨量状況.....	17
・土砂崩れ等.....	18
・被災建築物の状況.....	18
・災害復旧費用.....	18
3. 支援の状況	19
4. 応急対応の状況	19
・災害対策本部会議の開催状況.....	19
・消防対策本部の活動状況.....	20
・避難所の開設状況及び避難者数.....	20
・職員の動員状況.....	20
・出場要請について.....	20

第3章 平成30年台風第21号	21
1. 平成30年台風第21号の概要.....	21
・平成30年台風第21号進路図.....	21
・平成30年台風第21号 各地最大瞬間風速.....	21
・平成30年台風第21号 各地雨量.....	21
・平成30年台風第21号による被害状況.....	22
2. 本町の被害の概要	23
・気象警報の発表.....	23
・最大瞬間風速.....	23
・雨量状況.....	23
・ライフラインの状況.....	23
・被災建築物の状況.....	24
・公共施設被害状況.....	24
・災害復旧費用.....	25
3. 支援の状況	25
4. 応急対応の状況	25
・災害対策本部会議の開催状況.....	25
・避難所の開設状況及び避難者数.....	27
・職員の動員状況.....	28
・倒木の処理及び災害ごみの回収件数.....	28
・ごみの処理.....	28
・大沢地区対応.....	29
第4章 課題	30
・災害時の配備体制.....	30
・情報の入手、発信等について.....	30
・施設利用について.....	31
・システムのダウンについて.....	31
・避難所.....	31
・復旧期について.....	32

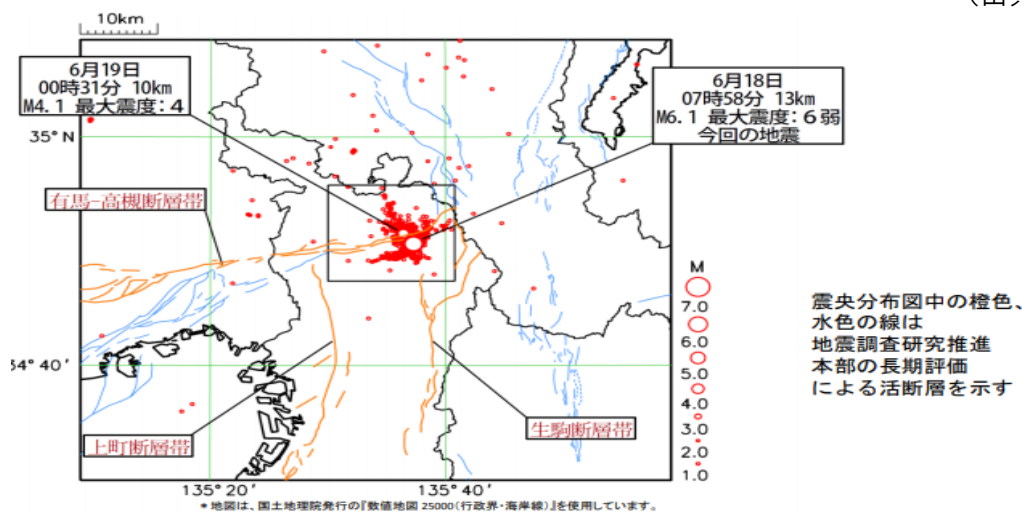
第1章 大阪府北部を震源とする地震

1. 大阪府北部を震源とする地震の概要

平成30年6月18日7時58分に、大阪府北部の震源の深さ13kmでM（マグニチュード）6.1の地震が発生し、大阪市北区、高槻市、枚方市、茨木市、箕面市で震度6弱、島本町をはじめ12の自治体で震度5強を観測したほか、近畿地方を中心に震度5弱～3を観測した。震度1以上の地震は6月19日0時31分に発生した震度4の地震を含め、6月30日までに計42回発生した。この地震により、死者4人をはじめ、多数の負傷者と住家の被害が発生した。

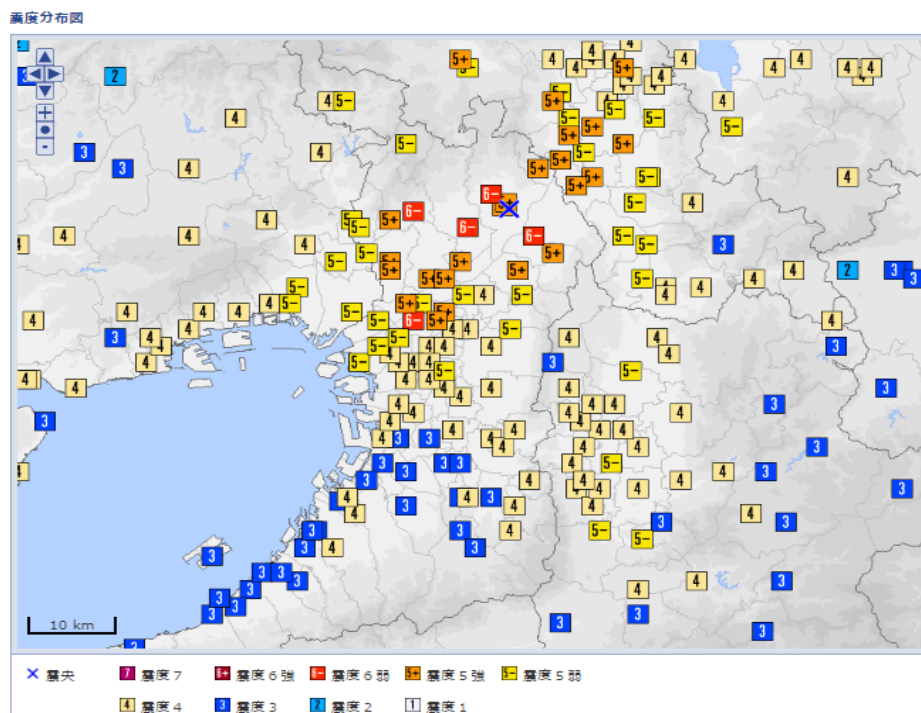
・平成30年6月18日 大阪府北部を震源とする地震 震央分布図

（出典：気象庁）



・平成30年6月18日 大阪府北部を震源とする地震 震度分布図

（出典：気象庁）



・平成30年6月18日 大阪府北部を震源とする地震による被害状況

(出典：消防庁 平成30年7月5日現在)

都道府県名	死者 (人)	重傷 (人)	軽傷 (人)	全壊 (棟)	半壊 (棟)	一部破損 (棟)
三重県		1	1			
滋賀県			3			
京都府		1	21			2,434
大阪府	4	9	351	9	87	24,631
兵庫県		4	38			4
奈良県			4			27
徳島県			1			
合計	4	15	419	9	87	27,096

・震度1以上の最大震度別地震回数表

(出典：気象庁 平成30年8月17日現在)

時間帯	最大震度別回数									震度1以上を観測した回数	
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計
6/18 07時～24時	14	6	1				1			22	22
6/19 00時～24時	6	3	2	1						12	34
6/20 00時～24時		2								2	36
6/21 00時～24時	2									2	38
6/22 00時～24時	2									2	40
6/23 00時～24時			1							1	41
6/24 00時～24時										0	41
6/25 00時～24時										0	41
6/26 00時～24時										0	41
6/27 00時～24時										0	41
6/28 00時～24時	1									1	42
6/29 00時～24時										0	42
6/30 00時～24時										0	42
合計	25	11	4	1	0	0	1	0	0	42	42

2. 本町の被害の概要

島本町では震度5強を観測し、図書館の天井をはじめ15の公共施設に被害が生じたほか、住家の一部破損が160件（平成31年3月4日現在 罹災証明書交付件数）にのぼった。発災直後に一部地域で水道水の濁りが報告されたが、断水等のライフラインの被害はなかった。

・ライフラインの状況

電気	ガス	水道
異常なし	異常なし	一部、水の濁り発生(6月19日解消)

・被災建築物の状況

被災建築物の件数 (平成31年3月4日現在)

全壊	半壊	一部破損	公共施設
0	0	160	15

※被災建築物：住家及び公共施設

・被災建築物の応急危険度判定及び被災宅地の危険度判定



被災建築物応急危険度判定士による被災建築物の応急危険度判定及び宅地危険度判定士による宅地の危険度判定を実施。

町職員および、大阪府等からの派遣判定士12名を加え、6月29日までに計45棟の応急危険度判定及び計10箇所宅地危険度判定を行った。

・被災建築物の応急危険度判定結果（棟）

調査済(緑)	要注意(黄)	危険(赤)	計
21	22	2	45

※被災建築物：住家及び建築物

・被災宅地の危険度判定結果（箇所）

調査済(緑)	要注意(黄)	危険(赤)	計
3	6	1	10

・ 公共施設被害状況

施設名	被害状況
第一小学校	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 3階教室内 エキスパンションジョイント(建物接合部)廻り破損 ➤ ブロック塀 一部ひび割れ
第二小学校	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 体育館 窓ガラス53枚破損・ひび割れ
第三小学校	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 図工室 窓ガラス1枚破損
第四小学校	<ul style="list-style-type: none"> ➤ エキスパンションジョイント(建物接合部)廻り破損 ➤ 校舎非常扉 ガラス3か所ひび割れ ➤ 増築棟4階機械室 スチールドアひずみ ➤ 敷地境界壁(PC版) 破損・ひび割れ ➤ 体育館男子トイレ 壁タイルひび割れ浮き
第一中学校	<ul style="list-style-type: none"> ➤ エキスパンションジョイント(建物接合部)廻り破損 ➤ プール外周 コンクリートブロック目地ひび割れ
第二中学校	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 体育館 窓ガラス8枚破損 ➤ 校舎非常扉 ガラス7枚破損・ひび割れ ➤ 生徒用スチールドア ひずみ ➤ 給食室 屋上ダクト支柱ゆがみ
第二保育所	<ul style="list-style-type: none"> ➤ エキスパンションジョイント(建物接合部)廻り破損
町立図書館	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 天井の破損、ひび割れ
歴史文化資料館	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 瓦漆喰の破損、壁のひび割れ
町立体育館	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ブロック塀のひび割れ
教育センター	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 窓ガラス2枚ひび割れ
人権文化センター	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 2階集会室 窓ガラス4枚ひび割れ ➤ エレベーター棟 エキスパンションジョイント(建物接合部)廻り破損 ➤ 汚水排水管破損、エレベータピット内浸水
大藪浄水場	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 外壁タイル 破損(浮き)
町立やまぶき園	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 壁にひび割れ(休園措置) ➤ 7月2日から役場庁舎職員休憩室等で、臨時開設中
町道桜井台10号線	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 法面石積み擁壁ひび割れ2箇所

・ 災害復旧費用

(平成30年12月現在)

事業	金額(円)
災害応急対策費	1,274,960
総務災害復旧事業費	199,800
衛生災害復旧事業費	100,000
土木災害復旧事業費	11,000,000
教育災害復旧事業費	8,031,596
合計	20,606,356



通行者の安全確保のため通行規制を実施。

町管理公園横の、歩道のり面部分の石積擁壁に、ひび割れ発生。



3. 交通機関及び避難所の状況



地震の影響で、JR東海道線において、3編成の電車が島本駅付近で停車し、降車した乗客が、島本駅から水無瀬駅付近に滞留した。また、町内各所の踏切において、遮断機が下りた状態が続き、通行不能となった。

町ではふれあいセンターに加え、第一幼稚園及び第一中学校に避難所を開設し出勤・帰宅困難者の受入れを行ったほか、駅前に町職員を配置して椅子や飲料水を提供した。

・交通機関の状況

JR東海道線	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 地震発生から、当日21時頃まで運休 ➢ 島本駅付近に3編成の電車(新快速・サンダーバード・普通)緊急停止
阪急京都線	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 地震発生から当日21時頃まで運休

・避難所の開設状況及び避難者数

避難所として、ふれあいセンター、第一幼稚園、第一中学校の3か所を設置し、出勤・帰宅困難者を中心とした合計158名の受け入れを行った。

施設名	避難者数(名)	備考
ふれあいセンター	102	6/18 10:00 開設 6/19 18:00 閉鎖
第一幼稚園	50	6/18 13:30 開設 6/18 23:00 閉鎖
第一中学校	6	6/18 13:30 開設 6/18 23:00 閉鎖

4. 支援の状況

安否確認	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 避難行動要支援者制度の登録者(重度障害者・要介護高齢者等)への安否確認 対象者:653人 実施:653人 ➤ 訪問等で支援している方への安否確認 実施:42人
罹災証明書	➤ 罹災証明書の発行:160件(平成31年3月4日現在)
その他支援	➤ ※大阪府義援金の支給 ひとり親・障害者世帯に5万円 6世帯
災害ごみの回収	➤ 災害により発生したごみの回収(ごみ回収量不明) (罹災証明書発行により、町では処分できない廃棄物も回収)

※大阪府義援金対象世帯：住家被害(一部破損)があり、平成30年度町・府民税非課税世帯かつ、ひとり親世帯または障害者手帳所持者を含む世帯

5. 応急対応の状況

・災害対策本部会議の開催状況

災害対策本部会議とは、町長を本部長、副町長、教育長を副本部長とし、そのほか各対策部(部・次長級)で構成された会議であり、被害状況や対応策について協議し、各対策部により災害対応に従事した。

日付	時刻	回数	内容
6月18日	9:30	第1回 災害対策本部会議	町内巡視状況報告 公共施設の対応検討
	10:50	第2回 災害対策本部会議	各部局における職員の安否確認及び、出勤状況報告 JR緊急停止に伴う、駅周辺での乗客滞留への対応検討
	12:05	第3回 災害対策本部会議	各部局からの被害・対応状況報告
	13:30	第4回 災害対策本部会議	出勤・帰宅困難者への対応検討 各部局からの被害・対応状況報告
	15:00	第5回 災害対策本部会議	各部局からの被害・対応状況報告
	17:00	第6回 災害対策本部会議	各部局からの被害・対応状況報告 配備体制の検討
	19:00	第7回 災害対策本部会議	災害対策基本法の適用 各部局からの被害・対応状況報告
	22:50	第8回 災害対策本部会議	各部局からの被害・対応状況報告
6月19日	2:40	第9回 災害対策本部会議	0:31発生の震度4の地震対応 配備体制の変更

日付	時刻	回数	内容
			巡視結果報告
	8:00	第10回 災害対策本部会議	今後の動きの検討 避難所対応、通学路の安全確認 各部局からの被害・対応状況報告
	13:15	第11回 災害対策本部会議	今後の動きの検討 各部局からの対応状況報告
	17:00	第12回 災害対策本部会議	避難所閉鎖検討 配備体制の検討 各部局からの対応状況報告

・ 職員の動員状況

日付	6月18日	6月19日	6月20日	6月21日	6月22日	6月23日
動員数 (人)	168	142	6	0	1	11

・ 職員の参集状況

発災後の職員の参集状況と業務継続計画の想定を比較する。

発災からの時間	実際の参集状況 参集割合 (%)	業務継続計画 参集割合 (%)
1 時間以内	42.6	19.2
3 時間以内	65.2	32.3
当日出勤者	82.4	50.7



6. 各対策部の災害対応の状況

・ 総合政策対策部

災害応急対策業務

事務分掌	主な実施内容
所管施設の被害調査及び復旧に関すること	人権文化センターの被害調査及び復旧
職員の現地派遣及び輸送に関すること	職員配備及び動員
職員配置の連絡、配給に関すること	飲食提供のための準備 職員配備及び動員 職員配置をタウンメールで配信
災害見舞の応援及び現地視察に関すること	町立図書館、第四保育所ほか、被災場所を町長・副町長が視察
総務対策部危機管理室の応援に関すること	電話対応の応援を実施
災害広報に関すること	ホームページ、フェイスブックを活用して広報を実施
報道機関との連絡・調整に関すること	報道機関へ情報提供を行い、問合せに対応

応急復旧期の応急活動

事務分掌	主な実施内容
災害救助法の適用	各施設被害状況の把握、公表
施設被害状況の把握	各施設被害状況の把握、公表
ライフラインの応急対策 復旧情報等の住民への広報	ホームページでガスの復旧方法、水道水の濁りについて、 広報を実施

・ 総務対策部

災害応急対策業務

事務分掌	主な実施内容
車両に関すること	公用車を災害対策本部へ提供
罹災証明書に関すること	6月20日より発行を開始
ふれあいセンターの被害調査 及び復旧に関すること	被害状況確認及び開所等の判断
災害予算措置に関すること	公共施設等の災害復旧に要する経費の集約

・ 健康福祉対策部

災害応急対策業務

事務分掌	主な実施内容
要配慮者の安全確認及び援助に関すること	避難行動要支援者名簿を活用し、安否を確認 (名簿提供同意者 653 人全員の安否を確認) 避難行動要支援者名簿の登録対象外で、状況の確認が必要 と思われる方の安否を確認 (電話や訪問で計 42 人の安否を確認)
福祉関係団体との連絡調整に関すること	安否確認に際し、民生委員児童委員や社会福祉協議会等と 連携を図り、安否確認を実施
医療機関及び保健所との連絡 に関すること	茨木保健所設置の地域災害医療本部会議に出席 医療関係機関や茨木保健所からの状況確認と協力申し出等 に対する対応を実施
被災者の健康状態、栄養状態の 把握	ふれあいセンターの避難者で体調不良を訴える方に町保健 師が対応

・都市創造対策部

災害応急対策業務

事務分掌	主な実施内容
道路・河川の被害状況の調査及び応急復旧に関する事	一部の道路を車両通行止め
農作物、農業用施設等の被害調査及び応急復旧に関する事	町内巡回時に目視で被害の有無を確認
ため池の水防に関する事	被害調査及び低水位管理
商工業関係被害調査及び復旧に関する事	商工会へ確認
所管施設の被害調査及び復旧に関する事	町営住宅の点検
し尿、ごみの収集及び清掃に関する事	通常通り収集
災害廃棄物の受入れ及び処理に関する事	罹災証明書が発行された場合、 1. 大型ごみを無料で収集 2. 通常は収集しない瓦やガレキ類等を災害によるもの に限り無料収集

応急復旧期の応急活動

事務分掌	主な実施内容
交通の機能確保 道路の被災状況の把握	道路及び道路付属物の緊急点検の実施
住宅応急対策 被害状況の把握 住家等被災判定調査	被災建築物の応急危険度判定の実施、被災宅地の危険度判定、住家被害認定調査
住居障害物の除去	瓦の除去
町管理施設の応急対策	応急危険度判定の実施
被災住宅の応急処理	ブルーシートによる養生
し尿処理 被害状況の把握	高槻クリーンセンター分室に被害がないこと確認
ごみ処理 処理施設被災状況把握 分別収集	清掃工場：被害なし 通常通り回収
死亡獣畜 発生状況の把握	地震による発生なし

・上下水道対策部

災害応急対策業務

事務分掌	主な実施内容
水道施設の被害調査及び復旧に関する事	浄水場・配水池の点検
飲料水の確保・供給に関する事	企業団水断水のため、井戸揚水量増
被害家屋への応急給水に関する事	高槻市への応援給水はあり
下水道施設の被害状況の調査及び応急復旧に関する事	山崎ポンプ場の点検

応急復旧期の応急活動

事務分掌	主な実施内容
ライフラインの応急対策 水道施設の施設緊急対応の実施、施設応急復旧対策の実施	井戸揚水の増加、緊急遮断弁復旧、濁水地域洗管

・議会対策部

災害応急対策業務

事務分掌	主な実施内容
町と議会との連絡調整に関する事	議員に対する情報提供

応急復旧期の応急活動

事務分掌	主な実施内容
議会に関する事務	来庁議員の対応

・教育こども対策部

災害応急対策業務

事務分掌	主な実施内容
教育施設の被害調査及び復旧に関する事	施設の被害状況の聞き取り及び現地確認
児童及び教職員の避難誘導に関する事	学校にて実施
避難所の開設収容保護に関する事	避難所配置職員が対応
炊き出し、給食に関する事	給食の中止に伴う、業者への連絡 翌日以降の給食実施可否判断及びその判断に伴う食材手配連絡
文化財の被害状況及び応急復旧に関する事	指定文化財及び登録有形文化財の所有者と連絡を取り、文化財の被害の有無を確認
所管施設の被災状況及び応急復旧に関する事	町立図書館の被害状況の確認 歴史文化資料館及び史跡桜井駅跡史跡公園の被害状況の確認 町立体育館の被害状況の確認 東大寺公園テニスコートの被害状況の確認 水無瀬川緑地公園スポーツ広場倉庫の被害状況の確認

応急復旧期の応急活動

事務分掌	主な実施内容
避難所の開設・管理 避難所の点検	学校施設の確認を併せて、点検を実施 避難所の開設・管理は本部の指示のもと、他部局からも配置
避難行動要支援者への支援 要保護乳児・児童の早期発見	安否確認を実施
心のケア対策	一定期間スクールカウンセラーの配置増へ事務手続き
応急教育等 施設被災状況の把握	教育総務課と連動して状況把握
施設応急復旧	安全確認及び使用可否判定
教職員被災状況の把握	状況確認
教職員等の確保	状況確認
児童生徒被災状況の把握	状況確認

事務分掌	主な実施内容
避難所の開設・管理 避難所の点検	学校施設の確認を併せて、点検を実施 避難所の開設・管理は本部の指示のもと、他部局からも配置
避難行動要支援者への支援 要保護乳児・児童の早期発見	安否確認を実施
心のケア対策	一定期間スクールカウンセラーの配置増へ事務手続き
応急教育等 施設被災状況の把握	教育総務課と連動して状況把握
施設応急復旧	安全確認及び使用可否判定
教職員被災状況の把握	状況確認
教職員等の確保	状況確認
身体と心の健康管理	スクールカウンセラーの臨時配置
応急教育等 生涯学習施設応急対策 文化財応急対策	災害応急対策業務と同様
施設被災状況の把握 施設応急復旧	災害応急対策業務と同様

・消防対策本部

・対応経過

日付	時刻	状況
6月18日	7:58	地震発生(島本町震度5強) 消防対策部警備本部を設置
	8:05	全消防職員の招集
	8:18	消防本部による町内全域の警戒巡回及び災害活動開始
	8:20	全消防団員の招集
	8:23	救急出動
	9:30	災害対策本部設置
	13:07	町内防火水槽の破損状況確認実施
6月19日	18:00	災害対策本部解散

・災害情報受信状況

本町では、地震発生直後に胸痛を発症した80歳代の女性による119番通報を1件受信した。

・災害対策本部設置期間中の出動状況(6月18日～6月19日)

出動	動員数(人)	内容
消防職員	52	救急出動:1件 自然災害出動:6件
消防団員	28	警戒出動

・災害活動等(6月18日～6月19日)

地震発生時、「島本町消防本部地震災害時の緊急初動体制実施計画」に基づいて活動し、災害対策本部設置中は、本庁危機管理室と連携を密にして、消防は人命救助を最優先として活動を実施した。

災害活動	主な実施内容
被害状況の把握	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 庁舎・車両の損壊状況、消防通信施設の障害状況及びライフラインの確認 ➤ 消防車両による町内巡回を実施 ➤ 共同住宅エレベーター、停車中の電車及び町内防火水槽の状況確認を実施

災害活動	主な実施内容
消火隊の編成	広報連絡車に可搬ポンプを積載し、3隊の消火隊を編成
通報に関すること	発災後に集中する119番通報を考慮し、※コールトリアージを実施

※コールトリアージ：通報時の重症度、緊急度による選別

・通学路の点検

小学校区ごとに、町職員（建築士）による通学路沿いの組積造（ブロック・石・レンガ）の点検（7月3日から7月中頃まで）を実施した。また、民間ブロック塀改修補助制度も8月14日から申請受付を開始した。

・大阪府への要請

公共施設の被災建築物応急危険度判定を要請

被災建築物応急危険度判定士 8名

（大阪府4名、公益社団法人大阪府建築士会及び一般社団法人大阪府建築士事務所協会4名）

・高槻市への支援

応急給水活動の支援 6月19日（日吉台配水池 職員2名派遣）

（上牧東公園 給水車1台 職員2名派遣）

罹災証明書の発行支援 7月2日から7月13日まで（各日職員2名程度派遣）

・島本町への寄付者一覧

寄付者	金額(円)
大阪府町村長会	680,000
大阪府町村議長会	230,000
長野県下水内郡栄村	50,000
西日本建設業保証株式会社	100,000

第2章 平成30年7月豪雨

1. 平成30年7月豪雨の概要

平成30年6月29日に発生した台風第7号が東シナ海を北上し、7月4日15時に日本海で温帯低気圧に変わった。前線や台風第7号の影響により、日本付近に暖かく非常に湿った空気が供給され続け、この間に大雨の特別警報が1府10県で発表されるなど西日本を中心に広い範囲で記録的な大雨となった。

・全国雨量

1時間降水量の多い方から10位（6月28日0時～7月8日24時）出典：気象庁

順位	都道府県	市町村	地点名(ヨミ)	降水量		
				(mm)	月日	時分
1	沖縄県	宮古郡多良間村	仲筋(ナカスジ)	129.0	7/4	17:26
2	沖縄県	宮古島市	城辺(グスクヘ)	111.0	7/5	10:50
3	岐阜県	下呂市	金山(カナヤマ)	108.0	7/8	03:07
4	高知県	宿毛市	宿毛(スクモ)	108.0	7/8	05:08
5	高知県	安芸郡馬路村	魚梁瀬(ヤナセ)	97.0	7/6	00:30
6	高知県	須崎市	須崎(スサキ)	90.5	7/7	09:24
7	沖縄県	島尻郡久米島町	北原(キタハラ)	90.0	7/3	10:25
8	高知県	香美市	繁藤(シゲトウ)	89.0	7/6	08:16
8	沖縄県	石垣市	石垣島(イシガキジマ)	89.0	7/5	15:26
10	山口県	下松市	下松(クダマツ)	86.0	7/5	02:01

期間内の総雨量の多い方から10位（6月28日0時～7月8日24時）出典：気象庁

順位	都道府県	市町村	地点名(ヨミ)	降水量
				(mm)
1	高知県	安芸郡馬路村	魚梁瀬(ヤナセ)	1852.5
2	高知県	長岡郡本山町	本山(モヤマ)	1694.0
3	高知県	香美市	繁藤(シゲトウ)	1389.5
4	徳島県	那賀郡那賀町	木頭(キトウ)	1365.5
5	高知県	香美市	大栃(オオトチ)	1364.5
6	高知県	吾川郡仁淀川町	鳥形山(トリガタヤマ)	1303.0
7	岐阜県	郡上市	ひるがの(ヒルガノ)	1214.5
8	岐阜県	郡上市	長滝(ナガタキ)	1193.5
9	高知県	吾川郡仁淀川町	池川(イケガワ)	1191.5
10	岐阜県	関市	関市板取(セキシイタリ)	1161.0

・大阪府の雨量

1時間降水量の多い方から10位（7月5日00時～7月8日10時）出典：大阪管区气象台

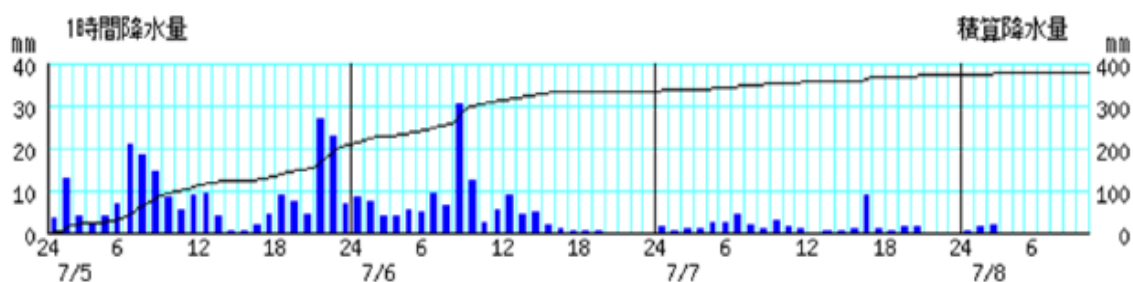
順位	市町村	地点名(ヨミ)	降水量		
			(mm)	月日	時分
1	豊能郡能勢町	能勢(ノセ)	51.5	7/6	12:37
2	茨木市	茨木(イバラキ)	39.0	7/6	09:31
3	豊中市	豊中(トヨナカ)	38.0	7/6	09:18
4	堺市堺区	堺(サカイ)	35.0	7/6	01:04
5	枚方市	枚方(ヒラカタ)	33.0	7/5	23:20
6	東大阪市	生駒山(イコマヤマ)	30.5	7/6	00:57
6	泉南郡熊取町	熊取(クマトリ)	30.5	7/6	01:24
8	八尾市	八尾(ヤオ)	27.5	7/6	00:15
9	大阪市中央区	大阪(オオサカ)	25.5	7/5	07:15
10	泉南郡田尻町	関空島(カンクウジマ)	21.0	7/5	23:31

期間降水量（7月5日00時～7月8日10時）出典：大阪管区气象台

順位	市町村	地点名(ヨミ)	降水量
			(mm)
1	豊能郡能勢町	能勢(ノセ)	498.5
2	茨木市	茨木(イバラキ)	375.5
3	豊中市	豊中(トヨナカ)	372.0
4	枚方市	枚方(ヒラカタ)	308.0
5	大阪市中央区	大阪(オオサカ)	269.5
6	堺市堺区	堺(サカイ)	266.5
7	東大阪市	生駒山(イコマヤマ)	254.5
8	泉南郡田尻町	関空島(カンクウジマ)	242.0
9	八尾市	八尾(ヤオ)	241.5
10	泉南郡熊取町	熊取(クマトリ)	216.0

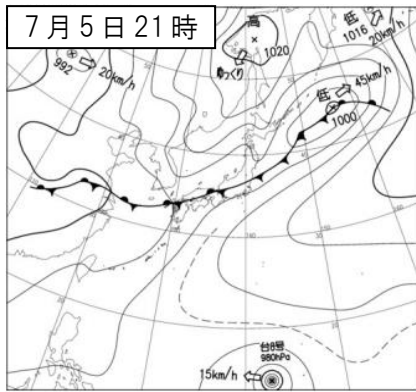
・アメダス時系列グラフ（7月5日00時～7月8日10時） 出典：大阪管区气象台

茨木

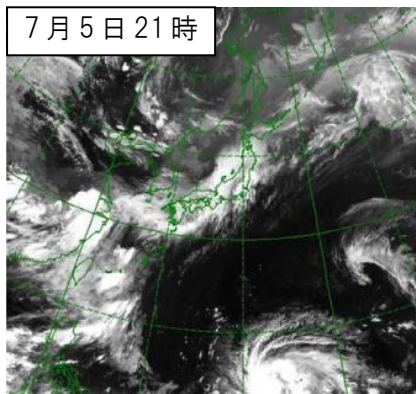


・天気図及びレーダー画像等

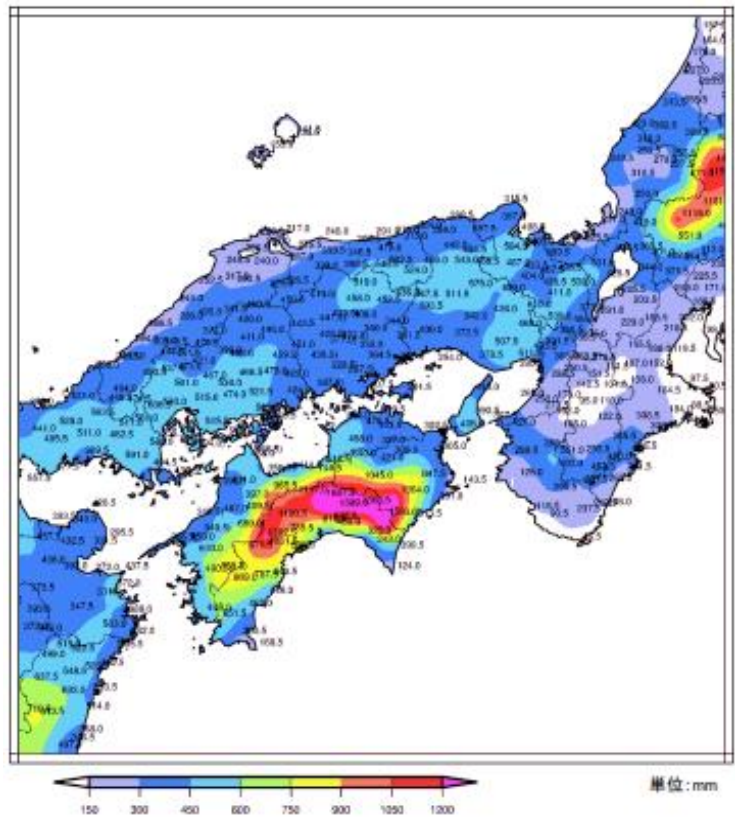
出典：大阪管区気象台



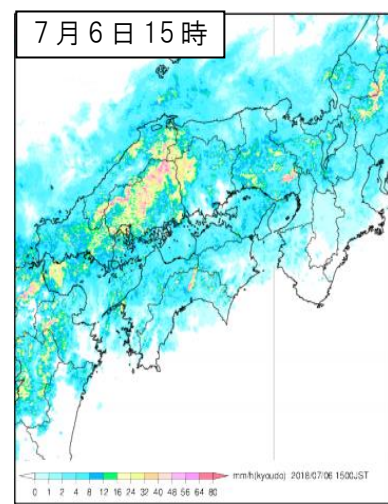
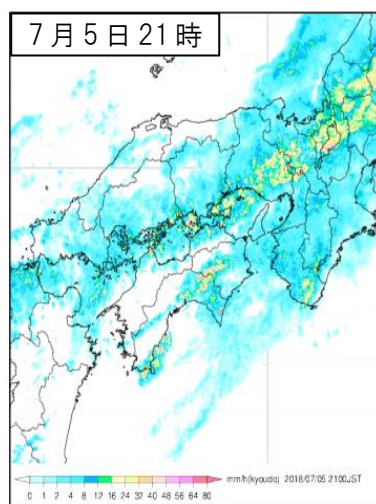
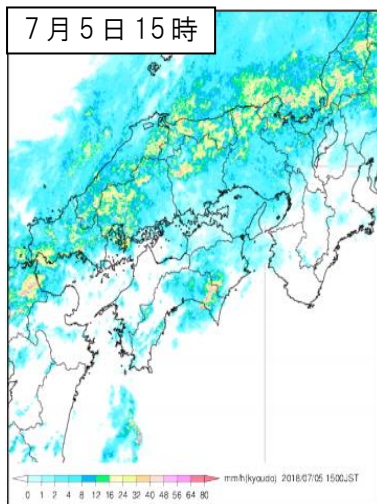
天気図



気象衛星赤外画像



アメダス期間降水量(6月28日12時～7月8日15時)



レーダー画像

・平成30年7月豪雨による被害状況

(出典：消防庁 平成30年10月9日現在)

都道府県	人的被害					住家被害				
	死者	行方不明	負傷者			全壊	半壊	一部損壊	床上浸水	床下浸水
			重傷	軽傷	程度不明					
人	人	人	人	人	棟	棟	棟	棟	棟	
北海道								1	7	121
秋田県								1		
福島県								9		
富山県										3
石川県										9
福井県								3		15
長野県									1	19
岐阜県	1		2	1		12	236	5	83	418
静岡県										4
愛知県									1	11
滋賀県	1									1
京都府	5		1	6	1	15	50	47	539	1,734
大阪府			2			1		9	7	25
兵庫県	2		2	9		16	18	81	68	707
奈良県	1							1	1	19
和歌山県				1		2	1	1	157	354
鳥取県								3	7	54
島根県						55	127	2		61
岡山県	61	3	9	152		4,812	3,081	1,108	2,921	6,035
広島県	109	5	49	89		1,085	3,258	1,996	3,234	5,603
山口県	3		3	10		21	448	95	135	653
徳島県								4	5	14
香川県				3				10	1	9
愛媛県	29		29	6	2	632	3,212	92	360	2,692
高知県	3			1		12	61	25	120	370
福岡県	4		8	14		15	222	173	952	2,294
佐賀県	2		1	4		3	1	25	34	247
長崎県				10		1		4	4	18
熊本県			1				3	4	3	71
大分県			1	3		2	1	3		12
宮崎県	1		1							
鹿児島県	2			1		1		5		3
沖縄県				5						
合計	224	8	109	315	3	6,695	10,719	3,707	8,640	21,576

2. 本町の被害の概要

島本町では向谷地区において7月5日から6日までの雨量が509mmを記録し、道路等に被害が生じたほか、土砂災害警戒情報がレベル4に到達し、避難指示（緊急）を該当地区に発令した。人的被害の発生はありませんでしたが、3か所で土砂災害が発生した。

・ 気象警報の発表及び避難情報の発令

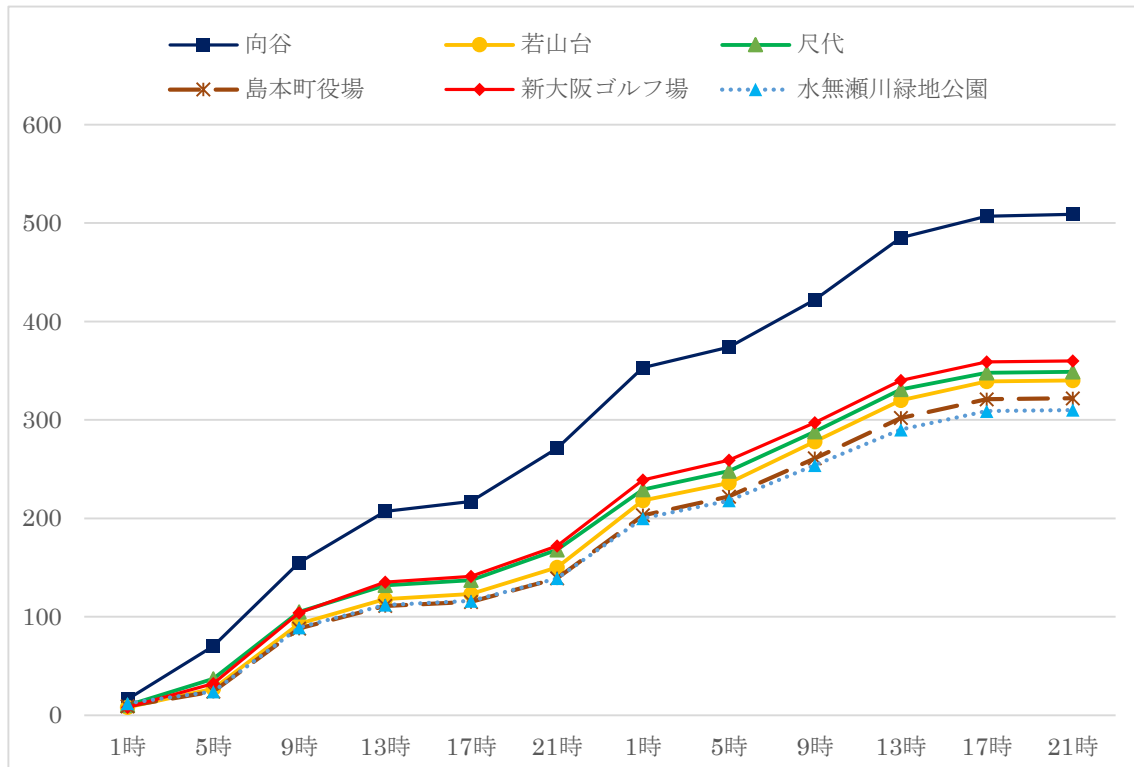
日付	時刻	内容
7月5日	6:41	大雨警報(土砂災害)発表
	8:29	洪水警報発表
	9:25	土砂災害警戒区域に対し避難勧告発令
	18:16	大雨警報(浸水害)発表
	19:45	土砂災害警戒情報発表
	21:50	桂川下流(桂水位観測所)にて氾濫危険水位(4.00m)に到達
	22:15	桂川浸水想定区域に対し避難勧告発令
7月6日	7:45	桂川浸水想定区域に発令していた避難勧告解除
	12:00	土砂災害警戒区域に対し避難指示発令
	13:40	桂川下流(桂水位観測所)にて氾濫危険水位(4.00m)に到達
	13:45	桂川浸水想定区域に対し避難勧告発令
	17:14	洪水警報から洪水注意報に変更
	20:25	土砂災害警戒情報解除
	22:32	洪水注意報解除
7月7日	7:40	桂川浸水想定区域に発令していた避難勧告解除
7月8日	4:36	大雨警報(土砂災害)から大雨注意報に変更
	7:50	土砂災害警戒区域(桜井五丁目を除く)避難指示解除
	16:00	桜井五丁目避難指示解除
	23:36	大雨注意報解除

・ 雨量状況

観測所名	期間内総雨量(mm)	最大時間雨量(mm)
向谷(大沢)	509.0	39.0
若山台	340.0	30.0
尺代	349.0	29.0
島本町役場	322.0	28.0
新大阪ゴルフ	360.0	32.0
水無瀬川緑地公園	310.0	30.0

※期間内総雨量：平成30年7月5日1:00～7月6日21:00

出典：土砂災害情報相互通報システム



期間内積算雨量：平成30年7月5日1:00～7月6日21:00

・ 土砂崩れ等

場所	被害状況
大字山崎(椎尾神社付近)	土砂流出
尺代(ながとり橋付近)	護岸の崩壊
東大寺(春日神社付近)	土砂崩れ
神内(高槻市域)	※土砂崩れ



※桜井五丁目の一部に避難指示発令

・ 被災建築物の状況

被災建築物の件数 (平成31年3月4日現在)

全壊	半壊	一部破損	公共施設
0	0	3	0

被災建築物：住家及び公共施設

・ 災害復旧費用

(平成30年12月現在)

事業	金額(円)
災害応急対策費	11,136,000
合計	11,136,000

3. 支援の状況

- ・避難行動要支援者制度登録者への安否確認
避難勧告発令(7月5日 22:15)に伴う安否確認

実施日時	対象者(人)	実施(人)	不要(人)	不通(人)
7月5日 23:00	40	27	3	10

- 避難指示(7月6日 12:00)に伴う安否確認

実施日時	対象者(人)	実施(人)	不要(人)	不通(人)
7月6日 16:00	40	30	3	7

- 避難勧告発令(7月6日 13:45)に伴う安否確認

実施日時	対象者(人)	実施(人)	不要(人)	不通(人)
7月6日 16:00	60	43	8	9

- ・罹災証明書の発行

罹災証明書	罹災証明書の発行:3件(3月4日現在)
-------	---------------------

4. 応急対応の状況

- ・災害対策本部会議の開催状況

日付	時刻	回数	会議内容
7月5日	13:00	第1回災害対策本部会議	各部局からの被害・対応報告
	17:00	第2回災害対策本部会議	各部局からの被害・対応報告 配備体制の検討
	20:00	第3回災害対策本部会議	各部局からの被害・対応報告 配備体制変更
	21:55	第4回災害対策本部会議	避難勧告発令(桂川浸水推定区域)決定 緑地公園集会所を避難所として開設決定 避難行動要支援者に対する安否確認実施
7月6日	11:30	第5回災害対策本部会議	各部局からの被害・対応報告 避難指示発令(土砂災害警戒区域)決定
	17:00	第6回災害対策本部会議	各部局からの被害・対応報告 配備体制変更
7月7日	9:00	第7回災害対策本部会議	各部局からの被害・対応報告
	13:00	第8回災害対策本部会議	町内巡視結果報告
	21:00	第9回災害対策本部会議	各部局からの被害・対応報告 桜井五丁目53世帯に対する避難誘導実施 配備体制変更
7月8日	9:05	第10回災害対策本部会議	各部局からの被害・対応報告 町内巡視結果報告
	15:50	第11回災害対策本部会議	各部局からの被害・対応報告 避難所の閉鎖決定

・消防対策本部の活動状況

・災害情報受信状況

島本町管内においては、大雨が原因と思われる自動火災報知機の誤作動による通報を4件受信した。

・災害対策本部設置期間中の出動状況（7月5日～7月8日）

出動	期間内動員数(人)	内容
消防職員	75	自然災害出動:1件
消防団員	3	警戒出動

・災害活動等（7月5日～7月8日）

「風水害等における消防本部（署）の連絡体制」に基づき、消防本部の配備体制を強化し、災害対策本部設置期間中は、本庁危機管理室と連携を密にして、消防は人命救助を最優先として活動を実施した。

災害活動	主な実施内容
被害状況の把握	➤ 消防車両による町内巡回を実施（7月5日7:30）

・避難所の開設状況及び避難者数

大雨警報（7月5日6:41発表）及び洪水警報（7月5日8:29発表）に伴う自主避難所の開設

施設名	避難者数(人)	備考
ふれあいセンター	62	7月5日 9:30 開設 7月8日 16:00 閉鎖
町立第二小学校	26	7月5日 9:30 開設 7月8日 9:30 閉鎖
町立第三小学校	1	7月5日 9:30 開設 7月8日 9:30 閉鎖

避難勧告（7月5日22:15）発令に伴う自主避難所の開設

緑地公園住宅集会所	1	7月5日 22:15 開設 7月7日 8:00 閉鎖
-----------	---	-------------------------------

・職員の動員状況

日付	7月5日	7月6日	7月7日	7月8日	7月9日
動員数(人)	109	149	144	89	46

・出場要請について

本町においては人的被害や大規模な物的被害がなく、災害配備体制が解除され通常業務体制になった後、緊急消防援助隊大阪府大隊の出動要請があり、出動計画に基づき、消防職員4名を広島県に派遣して、必要物資の輸送等の後方支援活動を実施した。

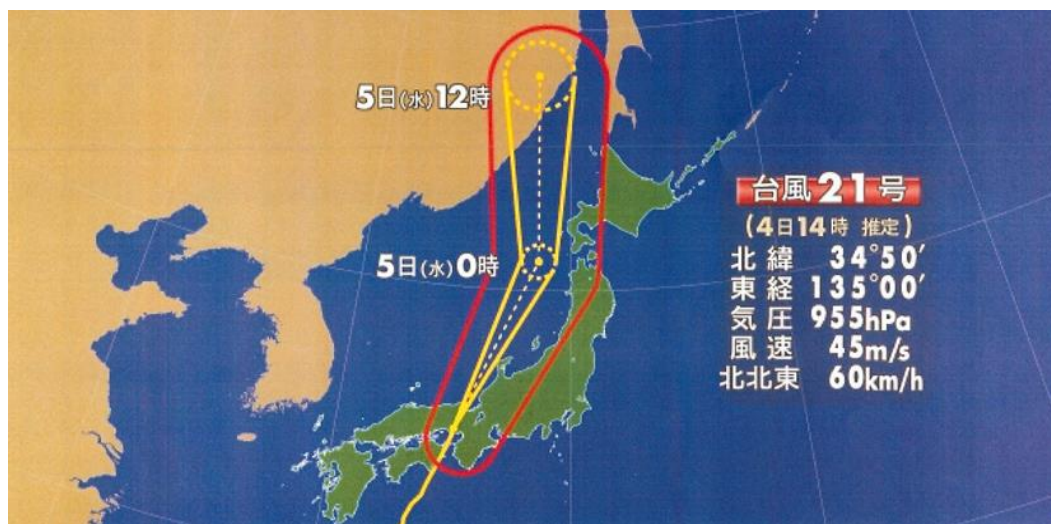
期間	派遣先	派遣人数
7月9日～7月13日	緊急消防援助隊大阪府大隊9次派遣	2名
7月12日～7月15日	緊急消防援助隊大阪府大隊11次派遣	1名
7月21日～7月25日	緊急消防援助隊大阪府大隊14次派遣	1名

第3章 平成30年台風第21号

1. 平成30年台風第21号の概要

平成30年9月4日正午ごろに非常に強い勢力で徳島県に上陸した台風第21号は午後2時から3時にかけて、近畿地方に接近した。各地で記録的な雨と風を記録した。

・平成30年台風第21号進路図



(引用:NHK 気象情報)

・平成30年台風第21号 各地最大瞬間風速

最大瞬間風速の大きい方から10位 (9月3日～9月5日24時) 出典：気象台

順位	都道府県	市町村	地点名(ヨミ)	最大瞬間風速			
				(m/s)	風向	月日	時分
1	大阪府	泉南郡田尻町	関空島(カンクウジマ)	58.1	南南西	9/4	13:38
2	和歌山県	和歌山市	和歌山(ワカヤマ)	57.4	南南西	9/4	13:19
3	高知県	室戸市	室戸岬(ムロミサキ)	55.3	西	9/4	11:53
4	和歌山県	和歌山市	友ヶ島(トモガシマ)	51.8	南)	9/4)	13:14)
5	大阪府	泉南郡熊取町	熊取(クマトリ)	51.2	南	9/4	13:40
6	徳島県	海部郡美波町	日和佐(ヒワサ)	50.3	東	9/4	11:05
7	徳島県	阿南市	蒲生田(カモダ)	48.8	東	9/4	11:13
8	福井県	敦賀市	敦賀(ツルガ)	47.9	東南東	9/4	15:00
9	大阪府	大阪市中央区	大阪(オオサカ)	47.4	南南西	9/4	14:03
10	愛知県	常滑市	セントレア	46.3	南南東	9/4	14:17

※) : 欠測が含まれる (準正常値)

・平成30年台風第21号 各地雨量

24時間降水量の多い方から10位 (9月3日～9月5日24時) 出典：気象台

順位	都道府県	市町村	地点名(ヨミ)	降水量		
				(mm)	月日	時分
1	愛知県	北設楽郡豊根村	茶臼山(チャウスヤマ)	354.0	9/5	04:00
2	静岡県	静岡市葵区	井川(イカワ)	349.0	9/5	02:00
3	高知県	安芸郡馬路村	魚梁瀬(ヤナセ)	318.5	9/4	22:00
4	奈良県	吉野郡十津川村	風屋(カゼヤ)	312.5	9/5	00:50
5	和歌山県	田辺市	護摩壇山(ゴマダンサン)	301.0	9/5	02:20
6	静岡県	静岡市葵区	梅ヶ島(ウメガシマ)	298.0	9/5	02:50

順位	都道府県	市町村	地点名(ヨミ)	降水量		
				(mm)	月日	時分
7	徳島県	勝浦郡上勝町	福原旭(フクハラアサヒ)	275.5	9/4	14:10
8	長野県	下伊那郡阿智村	浪合(ナミアイ)	262.0	9/5	04:40
9	愛知県	豊田市	阿蔵(アゾウ)	258.5	9/5	01:20
10	奈良県	吉野郡上北山村	上北山(カミキタヤマ)	257.5	9/4	23:00

・平成30年台風第21号による被害状況

(出典：消防庁 平成30年10月2日現在)

都道府県	人的被害					住家被害				
	死者	行方不明	負傷者			全壊	半壊	一部損壊	床上浸水	床下浸水
			重傷	軽傷	程度不明					
人	人	人	人	人	棟	棟	棟	棟	棟	
北海道			1	5				315		
青森県								14		
岩手県								6		
宮城県				1				2		
秋田県								50		
山形県				1				8		
福島県				1				18		
栃木県				5				5		
埼玉県				20				56	2	
千葉県				2				4		
東京都				4				16		
神奈川県				8				5		
新潟県			2	5			1	84		
富山県				6				23		
石川県				7				31		1
福井県			1	6				11		
山梨県				4						
長野県				5			1	29		3
岐阜県			6	39			3	138		
静岡県				1						
愛知県	2		3	57				14		2
三重県	1		2	31				9		
滋賀県	2		8	55	11	1	12	1,184		
京都府			3	57		4	4	3,448	6	71
大阪府	8		7	478		12	155	42,735		
兵庫県			6	53		2	1	353	48	318
奈良県			2	7				19	2	
和歌山県	1		5	26		6	12	1,504	4	40
島根県									1	11
岡山県				2					2	40
徳島県				9		1		1	1	15
香川県				1						3
高知県				1				1		1
合計	14		46	897	11	26	189	50,083	66	505

2. 本町の被害の概要

島本町では最大瞬間風速42.6m/sを観測し、避難所として設置した第二小学校体育館の窓ガラスが割れるなど公共施設に被害が生じたほか、住家の一部損壊が196件（平成31年3月3日現在罹災証明交付件数）の被害が生じた。

とりわけ、桜井一丁目では重さ約3tもの集合住宅の屋根の一部が数十メートル飛ばされ、道路上に落下し、周辺の住宅に大きな被害をもたらした。

・ 気象警報の発表

日付	時刻	内容
9月4日	4:56	暴風警報発表
	6:30	大雨警報(土砂災害・浸水害)発表
	17:58	暴風警報から強風注意報に変更 大雨警報から大雨注意報に変更
9月5日	4:06	強風注意報解除
	10:10	大雨注意報解除
9月8日	1:02	大雨警報(土砂災害)発表
	16:00	大雨警報(土砂災害)から大雨注意報に変更
9月9日	4:39	大雨注意報解除
9月10日	7:06	大雨警報(土砂災害)発表
	12:11	大雨警報(土砂災害)から大雨注意報に変更
	15:50	大雨注意報解除

・ 最大瞬間風速

日時	最大瞬間風速(m/s)
9月4日 14:24	42.6

・ 雨量状況

観測所名	期間内総雨量(mm)	最大時間雨量(mm)
向谷(大沢)	44.0	16.0
若山台	41.0	17.0
尺代	48.0	18.0
島本町役場	40.0	17.0
新大阪ゴルフ	47.0	17.0
水無瀬川緑地公園	29.0	13.0

※期間内総雨量：平成30年9月4日1:00～24:00

出典：土砂災害相互通報システム

・ ライフラインの状況

電気	ガス	水道
桜井・桜井台・尺代・水無瀬・高浜・大沢で停電 (9月14日17:05まで)	異常なし	大沢地区停電による断水 (9月14日23:00まで)

・被災建築物の状況

・被災建築物の件数

(平成31年3月4日現在)

全壊	※半壊	一部破損	公共施設
0	6	196	6

被災建築物：住家及び公共施設

※一部、非住家を含む

・被害状況（地区別件数）

地名	※半壊	一部破損
青葉		20
江川	1	14
桜井	4	27
桜井台		4
高浜		21
東大寺		15
百山		4
広瀬		56
水無瀬		18
山崎	1	14
若山台		3
合計	6	196



※一部、非住家を含む

・公共施設被害状況

施設名	被害状況
第一小学校	➤ 防球ネット 破損
第二小学校	➤ 防球ネット 破損
第四小学校	➤ 防球ネット 破損
第二中学校	➤ 防球ネット 破損
緑地公園住宅	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 渡り廊下転落防止柵 破損 ➤ 屋上消火用貯水槽 破損 ➤ ベランダ隔て板 破損 ➤ 玄関引き戸 破損 ➤ 駐輪場照明器具 破損
消防本部	➤ 庁舎ガレージ窓ガラス 破損

・ 災害復旧費用

(平成 30 年 12 月現在)

事業	金額(円)
災害応急対策費	30,240
総務災害復旧事業費	63,000
衛生災害復旧事業費	6,063,000
消防災害復旧事業費	192,000
土木災害復旧事業費	13,644,626
教育災害復旧事業費	13,310,000
農林水産業災害復旧事業費	3,590,046
合計	36,892,912

3. 支援の状況

安否確認	避難行動要支援者制度登録者への安否確認 対象者:76人 実施:76人
国民健康保険料の減免	1件(229,890円)
罹災証明書	罹災証明書の発行:196件(3月4日現在)
ブルーシートの貸与	55枚
災害ごみの回収	台風21号及び台風24号により発生した災害ごみの回収 (ごみ回収量 76,580kg) ※町内8カ所に臨時ごみ置き場設置(9月12日まで)し、町役場については、9月21日まで延長し受入れを実施

4. 応急対応の状況

・ 災害対策本部会議の開催状況

日付	時刻	回数	会議内容
9月4日	8:30	第1回災害対策本部会議	避難行動要支援者の対応 避難所の開設 災害対策本部の設置 配備体制変更 鉄道運休に伴う職員の対応
	15:45	第2回災害対策本部会議	各部局からの被害・対応報告 避難所の一部閉鎖 避難行動要支援への避難周知
	19:15	第3回災害対策本部会議	各部局からの被害・対応報告 災害ボランティアセンター立上げ検討 災害ごみ回収・倒木処理等対応検討 各地停電対応

日付	時刻	回数	会議内容
			配備体制変更
9月5日	9:00	第4回災害対策本部会議	各部署からの被害・対応報告 大沢地区の対応 災害ごみ対応(仮置き場として公園等を指定)
	16:30	第5回災害対策本部会議	大沢地区対応(福祉避難所の開設検討) 配備体制変更
9月6日	8:30	第6回災害対策本部会議	災害対応検討(災害ごみ回収・倒木処理等) 議会对応検討 道路・公園等施設点検 義援金・見舞金の検討
	18:00	第7回災害対策本部会議	各対策部からの被害・対応報告
9月7日	8:30	第8回災害対策本部会議	大沢地区道路状況報告 大沢地区給水作業実施
	18:00	第9回災害対策本部会議	災害対応検討(災害ごみ回収・倒木処理) 飛来物処理(桜井一丁目) 配備体制変更
9月10日	9:15	第10回災害対策本部会議	大沢地区対応 森林ボランティアによる倒木処理 被災者支援の把握
	17:00	第11回災害対策本部会議	災害対応検討(災害ごみ回収・倒木処理) 避難所の閉鎖
9月18日	17:00	第12回災害対策本部会議	本部の閉鎖 今後の災害対応検討

- ・ 消防対策本部の活動状況
- ・ 災害通報受信状況

島本町管内では、台風21号に伴う家屋の屋根の落下、ガラス窓の破損、停電や水路越水等の災害情報を119番通報で5件、加入電話及び本町内線電話による通報で約40件受信した。また、台風による大雨が原因と思われる自動火災報知機による誤作動も3件受信した。

- ・ 災害対策本部設置期間中の出動状況(9月4日～9月18日)

出動	期間内動員数(人)	内容
消防職員	105	自然災害出動:11件
消防団員	34	警戒出動

- ・ 対応経過(自然災害出動)

日付	時刻	出動先
9月4日	14:10	青葉二丁目他
	14:35	水無瀬一丁目他
	18:42	百山
	21:20	青葉二丁目
9月5日	6:27	高浜二丁目他
	8:14	水無瀬二丁目
	8:15	高浜二丁目
	9:14	広瀬一丁目
9月7日	22:50	町内スクリーン巡回
9月8日	10:34	高浜三丁目
9月10日	0:10	町内スクリーン巡回

・災害活動等（9月4日～9月18日）

「風水害等における消防本部（署）の連絡体制」に基づき、消防本部の配備体制を強化し、災害対策本部設置中は、本庁危機管理室と連携を密にして、消防は人命救助を最優先として活動を実施した。

災害活動	主な実施内容
被害状況の把握	消防車両での巡回
応急対応等	テレビアンテナや防水シートの撤去、窓ガラスや瓦の除去、警戒区域の設定等の実施。
被害報告に関すること	発災後に集中する119番通報を考慮し、※コールトリアージを実施。

※コールトリアージ：通報時の重症度、緊急度による選別

・避難所の開設状況及び避難者数

暴風警報（9月4日4:56発表）及び大雨警報（9月4日6:30発表）に係る自主避難所の開設

施設名	避難者数(人)	備考
ふれあいセンター	42	9月4日 6:00 開設 9月8日 17:00 閉鎖
町立第二小学校	0	9月4日 10:00 開設 9月4日 14:30※閉鎖

※避難所内施設破損のため

大雨警報（9月10日7:06発表）に係る自主避難所の開設

施設名	避難者数(人)	備考
ふれあいセンター	0	9月10日 8:30 開設 9月10日 12:50 閉鎖

福祉避難所の開設

施設名	避難者数(人)	備考
特別養護老人ホーム 弥栄の郷	2	9月5日 開設 9月16日 閉鎖



災害ごみの回収



山林の倒木の様子

・ 職員の動員状況

9月													
日付	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	18日
動員(人)	111	94	73	72	62	7	64	45	40	46	32	2	33

・ 倒木の処理及び災害ごみの回収件数

地名	被害報告件数
青葉	14
江川	4
桜井	16
桜井台	6
尺代	2
高浜	12
東大寺	20
百山	1
広瀬	21
水無瀬	19
山崎	15
若山台	14
合計	144

強い風の影響で、街路樹や学校施設の立木などが倒された。とりわけ、大沢地区では府道沿いに多くの立木が倒され、送電線に多大なダメージがあり、長期間停電する事態となった。町では、住民からの被害報告144件に対し、職員、町内の建設業者、森林ボランティアにより倒木処理及び災害ごみの回収を行った。



・ ごみの処理

倒木の影響で電柱が倒れ、清掃工場への電力が遮断されたことから施設でのごみ処理ができなくなった。このことから、「北摂地域における災害等廃棄物の処理に係る相互支援協定」に基づき、平成30年9月5日から平成30年9月7日までの間、高槻市へごみ処理の支援要請を行った。なお、処理量については、以下のとおりである。

搬入日	家庭ごみ(kg)	事業系ごみ(kg)	計(kg)
9月5日	0	2,600	2,600
9月6日	25,820	4,310	30,130
9月7日	7,510	4,180	11,690
合計	33,330	11,090	44,420

・大沢地区対応

日付	内容
9月5日	高槻川久保ルート、尺代柳谷ルート、長岡柳谷ルートの倒木による通行止め
	長岡・柳谷ルート暫定開通
	発電機、衛星携帯電話貸与
	避難者数:3名(ふれあいセンター、福祉避難所)
9月6日	避難者数:2名(福祉避難所)
	発電機用ガソリン配達
9月7日	乙訓土木事務所による尺代柳谷ルート開通工事実施
	給水活動実施
9月9日	給水タンク設置、発電機用ガソリン配達
	高槻川久保ルート、尺代柳谷ルート暫定開通
9月10日	発電機用ガソリン配達、保健師による健康チェック実施
9月14日	電気復旧、上水道の復旧
9月15日	高槻川久保ルート、尺代柳谷ルート、長岡柳谷ルート通行止め解除

第4章 課題

・災害時の配備体制

課題	対応
公共交通機関が止まっている中で、出勤が困難な者も多く、人員の確保が困難であった。	出勤できる職員数が限られる中、業務継続計画に照らし合わせ、実施すべき業務を抽出して実施体制を確保する。
配備終了後の職員が通常業務に従事するなど 24 時間以上勤務し続ける職員がいた。	部局内で相互に応援し、勤務時間を考慮した体制づくりに取り組む。
危機管理室執務室（2階と）、災害対策本部（地階）と離れているため、情報共有等、災害対応においてスムーズに行えない事があった。	災害対応に必要な通信機器やシステムと災害対策本部をワンフロアにする事で情報共有等、より適切かつ迅速に実施する事ができ合理的であるため検討する。

・情報の入手、発信等について

課題	対応
停電に関する事など町民からの問合せが集中し、対応に追われたが、あらかじめ発信する内容を定めた様式を定めて、円滑かつ確実に情報を発信するべきであった。また、災害に関連する情報を多くの広報媒体で発信する必要があった。	発信すべき内容はその災害ごとに異なるが、過去の事例や近隣自治体が発信した情報を集め、発信が必要な情報の精査及び、今後発信が必要となる情報の想定などに取り組む。また、島本町災害情報 Twitter アカウントを作成し、平成 31 年 4 月から運用を開始し、災害時において、島本町ホームページを防災関連情報をまとめた災害モードへ切り替え、迅速な情報発信に努める。
電話等による町民からの問合せにおいて、電話対応マニュアル等がなく、対応の差異や情報伝達の正確性に問題があった。	伝達から処理終了まで漏れが発生しないように様式を作成して対応する。

課題	対応
災害時における山間部の集落との連絡体制の確保が必要である。	地域住民及び職員に対し、防災行政無線電話の使用方法的周知を図る。また、電話会社と連携を取り、通信手段の早期復旧に努める。

・施設利用について

課題	対応
地震発生後の町が保有している施設の利用の可否の判断基準が明確でなかった。	各部局で協議して基準を認識し、共有するよう努める。

・システムのダウンについて

課題	対応
内部システムのダウンにより、一時的に、通常業務を維持することが不可能であった。	復旧の手順について、検証し、職員でも実施できるような体制づくりに取り組む。

・避難所

課題	対応
避難所へのペット同行避難についての対応やルールの周知が不十分である。	避難所でのペットのルールを、ホームページ等での周知徹底を図る。
災害対策本部からの情報発信や避難所間での情報の共有が不十分である。	現状は携帯電話での口頭連絡のみであるので、要員の交代時などに伝達するよう努める。また、災害対策本部と各避難所間の情報伝達の効率化及び情報の共有化を図るため、SNS（ソーシャル・ネット・ワーキングサービス）を活用する事を検討する。
避難所の開設・管理について、開設用の機材をまとめたボックスの内容に足りないものが多くあり、見直し及び初動マニュアルが必要である。	避難所開設時の事務用品の内容の見直しや補充等の管理を徹底する。

課題	対応
本町では、初めてとなる福祉避難所の開設を災害協定に基づき実施したが、開設に至る手順や運営等について整理が必要である。	福祉避難所となる、災害協定先の福祉施設と運営に伴う詳細事項について協議を進める。

・復旧期について

課題	対応
罹災証明書の発行事務について、危機管理室が担当することになっているため、災害対応と輻輳し発行に時間を要した。受付を廊下で行ったので、混雑時に待合いスペースがなかった。	罹災証明書の発行事務について、地域防災計画の修正に併せて検討する。また、近隣市で行われていた自己判定方式による即日交付の導入について、検討する。
災害ボランティアセンターについて、開設のための具体的な条件を取り決めされていない。	協定締結の相手方である島本町社会福祉協議会と協議して、検討する。

